



# 三条ロータリークラブ週報

1986. 11. 26

No. 1485

No. 22

ROTARY BRINGS HOPE

## ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カバラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長—日戸 平太 幹事—上木 六治 SAA—外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)

出 席 率： 会員 67名中 42名 : 先々週出席率： 95.12% (前年同期 95.16%)

今日のお花： 一重ストック、スプレー菊

ヴィジター： 三条南より 丸田肇一君、住谷哲雄君、田中久作君  
三条北より 堀川正幸君

ゲ ス ト： 虹の会 佐藤スワ子さん、竹田陽子さん、小林キミさん

先週のメイクアップ： 11/13 加茂へ 松縄 弘君

11/19 中条へ 小林英雄君

11/20 加茂へ 古沢富雄君、塩原 恒君

11/20 新潟西へ 箱崎源伸君

11/20 村上へ 小林英雄君

会 長 挨拶： 日戸会長

昨夜、北クラブ創立総会(12月14日)のリハーサルを行いました。中條、梨本、野村、岩井、上木の皆さん御苦労様でした。クラブメンバーはロータリーソングがうまくなりました。

ホストクラブから当日、多数のご出席を期待します。

交換学生のエミー君は12月から川又さん宅にスティホームが変わります。オハヨーとオハイオ州の区別も確かではなかった彼女は、今ではもう「コンバンは」も朝メシ前になりました。

8月の来日以来、面倒をみて頂いた梨本さん、特に奥様、家族の方々に心から感謝申し上げます。

## 幹事報告： 上木幹事

- いからしの里より サンタクロース団派遣方依頼申請について  
12月19日（金）午前10時～午後12時30分 いからしの里
- 赤い羽根共同募金の協力についての御礼
- 吉田ロータリークラブより 週報

### ニコニコBOX ￥19,000



- 箱崎君 出張が多く出席出来ませんでした。今日はしばらくぶりで出席させて頂きます。
- 松川君 虹の会の御三方をお迎えして。
- 佐藤君 「虹の会」の皆さんを歓迎して。これからも社会奉仕にはげんで下さい。
- 梨本君 すべての友人に感謝して。
- 小林(英)君 19日中条、20日村上、藤田ガバナーの公式訪問に随行し、立派なガバナー振りに恐れ入りました。
- 大谷君 11月17日、3週間振りに三ノ町病院から退院しました。入院中、日戸会長さん、上木幹事さんからわざわざ御見舞に来て頂き、過分の御見舞を頂き有難う御座いました。お陰様で40数年来吸いつづけたタバコを止めることが出来ました。
- 森井君 久し振りのホームクラブ出席です。諸兄のお元気で活躍の様子、嬉しく思います。

## 委員会報告：

### ◦国際奉仕委員会 古沢委員長

交換学生エミーを8月22日に迎えて3カ月を経過し、ホームスティに今日まで梨本さんに大変なお世話を頂き、一時はホームシックにかかったとか。でも無事にすぎし、今では日本の伝統文化を勉強したいとか。学校では剣道クラブで活躍しています。これも梨本さんのお陰と感謝申し上げます。

次のホームスティは川又さんが3カ月お世話下さるのですが、それ以降は未定であります。ホームスティは3カ月ずつでありますので、お世話をしてやろうと云う方は是非お申し出下さい。

### ◦梨本清一会員

ホームスティをさせて頂いた感謝の言葉と、今日で本クラブを去るお別れの言葉を述べさせて頂きます。

まだ一度も会ったことのないエミーを、妻と二人で成田まで迎えに行ったのはまだ暑い日の

8月22日でございました。

三条に連れ帰り、お互いに気心もわかりかけた頃、エミーは言いました。「セイイチ、成田ではとてもびっくりしたよ。セイイチは成田でカムヒアと言いながら、おいでおいで（手の平を内側に）をしていたね。あれはアメリカでは、来るな来るなというサインだよ」。エミーの言葉を借りれば、Every thingです。少しの違いではなく、文化、習慣は勿論のこと、特に彼女の強調するのは「考え方」ですが、すべてが全部違うのです。

この違いは、私ども夫婦にとって、毎日毎日のすばらしい発見として楽しんでおりましたが、エミーにとっては大変な努力の毎日だった筈です。

しかし、エミーはほんとにがんばりました。3カ月終った今、少しでも日本語も話せる様になりました。つい4、5日前、取材に来ていた女性記者に「I Like Japan」を繰り返していました。あのエミーが、そう言っていたのです。私は胸がしめつけられる思いでした。「ホームスティをしてほんとによかったね」と妻と二人で手を握り合ったのです。

三条ロータリーメンバーの全員にお礼を申し上げます。特に日戸会長、古沢委員長、五十嵐総一君、それに川又君、どうもありがとう。

エミーが日本に来たつい3カ月前頃には、まさか私がこの三条クラブを去ることになるとは夢にも思っていませんでした。

北クラブはまだまだガラスで出来た歯車です。もうすでに簡単に、もろくも二つも三つも歯が欠けてしまいました。ちょっと油断をしたら歯車ごとこわれてしまいそうな状態なのです。

生意気な言い方ですが、こんな私でも役に立ちそうです。今、この私に出来ることは、一日でも早く、北クラブにきちんと籍を置くことだと判断致しました。こんな生意気なことが出来る様になりましたのも、10年間ご指導を頂いた皆様方のお陰でございます。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。さようなら。

## 卓 話： 朗読奉仕をかえりみて

### ◦佐藤スワ子さん



視力障害の方々に朗読奉仕をやっております虹の会の佐藤スワ子でございます。日頃何かとご後援を頂いております各界のリーダーのお集まりに、この様にお招きを頂きまして本当に有難うございます。

私共の虹の会は、昭和53年に三条朗読奉仕「虹の会」として発足致しました。現在市内、燕、吉田、田上、白根から会員が集まりまして約30名程です。

私はその前年の52年に朗読奉仕養成講座が開講されることを知りまして、読書好きのこともあり、読書に依って得られる知識、感動を盲人の方々と共に分ち合えたらと、そんなことを考えましてその講座を受講しました。

それから遅々としてではありますが、朗読の図書を作りまして、県の新潟図書館に送っております。60分テープで現在約200巻一寸になりました。

三条には残念ながら録音スタジオがありません。従って殆んどが自宅録音となりますが、マイクの囲りに辞書を重ね、その上に毛布やら座布団を重ねて雑音を少なくして聞き易い様にと工夫して雑音を少なくしておりますけれど、生活雑音とか環境雑音というのは致し方の無いことで、その環境雑音の酷い方は毎月例会で図書館に設置してございます、先年こちら様より御寄贈を頂きました良い器具を頂戴しておりますので、それを毎月の例会に使い、環境雑音を消すことの出来ない方が図書館で録音をして、大いに活用させて頂いており、本当に有難く思っております。

先日私共の虹の会に一本のテープが送られて参りました。それは盲人の方お二人で作詩作曲をされた「虹の会讃歌」というものです。私たちにあって、とても気恥かしい様な言葉がありました。とても嬉しうございました。そして励みになりました。

又、幸運にも私が県で一人鉄道弘済会の方から賞を頂けて、そんなことも励みになって、こうして朗読奉仕をやらして頂けるのは、今では私の生き甲斐になっております。いつまでも視力障害の方々の眼になっていかれる様に努力するつもりでおります。

今後共どうぞ御支援を頂けます様お願い申し上げます。本当に有難うございました。

・竹内陽子さん

今日はお招きを頂き有難うございます。手短かにお話をしたいと思います。

大体の処は会長がお話をしましたので、私の方から今更お話しをすることも無いのですが、ボランティアの活動をやっておりまして会員の皆が体験しておることなのですが、2つ例を上げてお話をしたいと思います。

一つは先に会長が話されたテープを送ってくれた盲人のお話ですが、この方は下田村の役場に勤めておられまして、40代後半の頃に突然失明された方なのですが、それで退職を余儀なくされまして、お子様も学校に行っておられるので、生活が大変だったわけですが、非常に本人の精神的負担も大きかったのですけれど、その時たまたまその人が詩か短歌を作りたいから、何か良い本があったら紹介してくれということで、私が短歌の入門書を持っておりまして、それを読んで上げたのです。

それから、その方がづーと連絡をとって下さいまして、2年位して、一念発起され盲学校へ3年間通われ、今はマッサージ業を営まれるようになりました。

その時、私は何気なしに読んで上げた本なのですが、自分のやったことの重みが、後になって感じましたのは、新潟日報の窓という投書欄があるのですが、そこに奥様が投書をされていました。それを読みました時に、私が自分のやったことが、こんなに大きなことだったのだなあ初めて自覚しました。非常に精神的に物凄く参っておられた時に、テープを送って頂いた為に自分の主人が立ち直ることが出来たという投書だったのです。私はやって良かったなあ第一番に思いました。



二つ目は最初に読みました本があります。満洲の開拓団の方が引上げてこられる時の体験を書かれた本です。

本成寺に慰霊碑がありまして、毎年夏になると慰霊祭が行なわれるのですが、その本の中国の地名が読めなかったので筆者に問い合わせました処、それ以来ずーと筆者と繋りが持てました。それで慰霊祭で初めてお目にかかったのですが、その処で吃驚致しましたのは、私のテープを聞いて頂いた二人の盲人の方が参加して下さいったということです。それから毎年お参りをして下さるということをこの間も聞きまして、ああやっぱりこう云う事が些細なことですが力になったのだと考えさせられました。

こう云うことは会員の皆様全員が体験をされているということをお願い、私がつくづく思うことはボランティアは、人の為になるので、やって上げよう云う気持ちで最初は始めるのではないのでしょうか。でも私は今考えますのは、やっていて全部自分に返って来るといことです。すばらしい本に巡り会うことも、話し方が旨くなることも、私が出した物より、自分が得た物の方が大きいのではないかと思います。

私自身家庭をもっておりますので、家庭も大事にして、今後も一生懸命に励みたいと思っております。

色々ご協力を頂きまして有難うございました。

・小林キミさん

25〜6年前に紫苑コーラスにいました時に、一度お招きを頂いたことがあった様に憶えております。

私が虹の会に入りましたのは、家に3人の子供がおりまして、寝る時にいつも本を読んでやりました。処が子供が段々大きくなりましたものから、又私自身声を出して本を読むことが大好きなので、それで何か役に立つことがないかと思っておりました時に、新聞で虹の会のことを知りまして、早速に会に入れて頂きました。

勉強すればする程難かしいですが、勉強をしなければなりませんので、人の為というよりも自分の為になることが多いのです。難かしいから止めようかなあと思うのですが、佐藤さんの人柄と会員の皆様と目的をもって進む、皆様が一生懸命にやっというより、それから盲人の方が喜んで迎えて下さることにおかれて、虹の会に入っているのです。

それからもう一つ虹の会の活動といたしまして、図書館で本の読み聞かせをしております。子供と云うのは可能性が大きいので、小さい時から良い本を沢山取扱せていますと、その子の成長の為にもなり、役に立つことも多いと思うのです。

テレビの普及と共に活字離れというのが、大分前から叫ばれていますので、なんとかして本好きな子供を育てたいと云うことでお手伝いをしているのですが、大きな可能性を持っている子供達なので、子供達からも得ることが一杯あります。それで一寸お伺いしたのですが、皆様方の中で子供達に本を読んで上げた方はいらっしゃるでしょうか……。



どうかお子様やお孫様にお小遣を上げるだけでなく、本を読んで聞かせて上げて下さい。  
絶対にお父さん株やお爺さん株が上りますので宜敷くお願い申し上げます。



---

次週例会	12月3日	クラブアッセンブリー
次々週例会	12月10日	クラブアッセンブリー

---